

「COPD 急性増悪入院患者における栄養状態と NST 介入の今後の課題に関する研究」 について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、現在、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の急性増悪で入院された患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究の概要及び利用目的】

慢性閉塞性肺疾患（以下COPD）患者さんは、代謝亢進や全身性炎症などの複合的な要素により高率に栄養障害が認められております。適切な治療にもかかわらず、栄養不良により自宅退院が困難なケースも多いことから、自宅退院群と転院群の2群に分けてCOPD急性増悪入院患者さんの特徴やNST介入状況を調査し、今後のNST介入方法について検討します。

【登録期間】

研究実施期間：院長承認日～2020年02月28日

研究対象期間：2016年7月1日～2019年5月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2016年7月～2019年5月の2年11ヶ月間に、呼吸器内科へCOPD急性増悪で入院となった方の下記データを収集し検討いたします。

（収集データ）

年齢、性別、入院時SGA（A～Dの4段階）、BMI、Alb変化総リンパ球数（以下TLC）、酸素投与の有無、NST介入状況

カルテからの情報收拾のため、新たな検査等の患者の負担はございません。

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できないように処理し、対応表作成を作成し、対応表はネットワークに接続しないパソコンに保管します。個人情報を外部期間へ提供しません。

研究対象者個人が識別されないように成果報告します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者情報は、論文等の発表から5年間は保管され、その後は患者を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄します。また、患者さんが本研究に関する使用の取りやめを申し出た際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

試料・情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。しかし、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できない場合がございます。

尚、拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科

主任科部長 西馬 照明

連絡先：079-451-5500